

## キリンビバレッジ 2018年8月販売概況レポート

### 1. キリンビバレッジ社

カテゴリ	前年比
清涼飲料合計	102%

- ・清涼飲料市場全体は単月前年比 102%となった。
- ・当社は単月前年比 102%で着地。
- ・生茶は、西日本豪雨の影響等により一時出荷停止していた 280ml<sup>※</sup>を除く小型ペットボトルが前年を上回った。大型ペットボトルについても前年比二桁増で好調に推移し、単月前年比 102%。  
※ホット容器を含む 280ml ペットボトル
- ・午後の紅茶は、主力 3 品（ストレート、ミルク、レモン）の 500ml ペットボトルが前年比二桁増で好調に推移しているものの、エクステンション品や、西日本豪雨の影響等により出荷調整を行っていた大型ペットボトルのマイナス分により、単月前年比 92%。
- ・ファイアは、前年同月に発売したボトル缶新商品の裏返しや、西日本豪雨の影響等による一部商品の出荷停止もあり、単月前年比 79%。
- ・健康・スポーツ飲料は、猛暑の影響により「ラブズスポーツ」などが牽引し、単月前年比 134%。
- ・炭酸飲料は、「キリンレモン」が好調に推移し、「メッツ」のマイナス分をカバーして、単月前年比 107%。
- ・ミネラルウォーターは、単月前年比 102%となった。  
構成比の高い「アルカリイオンの水」は、前月に発生した西日本豪雨の影響で出荷が増えたことにより、当月においては供給を維持するために出荷調整を行った影響でマイナスとなった。  
猛暑による需要拡大で「ボルヴィック」やその他の国産水の増分があり、ミネラルウォーター全体では微増となった。

以上